

論理パーティション ポリシーと地理位置情報の動作について

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ポリシーの CUCM 管理](#)

[シナリオ例](#)

[ポリシーの矛盾と重複についてよく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)

[位置情報および論理パーティションの使用に関するセットアップ](#)

[ボーダー デバイスと要素デバイス](#)

[\[Allow\] \(許可\) と \[Deny\] \(拒否\) の設定](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、位置情報 (Geolocation)、位置情報フィルタ (Geolocation Filter)、および論理パーティション (Logical Partitioning) を、インドなどオンネット コールからオフネット コールを分離する必要がある国でどのように使用できるかについて説明します。コーリング サーチ スペース (CSS) とパーティションで提供されるサービス クラスは、特定の法律や規制に準拠するために必要とされる細やかなレベルを提供しない場合があります。また、これらの同じ要素が Extension Mobility Cross Cluster (EMCC) 設定で使用されていることに気づくこともあります。さらに特定の場所にフィルタリングする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1\(2\) の機能とサービスのガイド](#)」を参照してください。このドキュメントでは、地理的なコンポーネントについては詳しくは説明しません。このドキュメントは、どのようにすべてが論理的に連携して機能するかということに焦点を当てています。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

ポリシーの CUCM 管理

これらの主要な要素は、次の Cisco Unified Communications Manager (CUCM) (CallManager) の [CCMAdmin] ページにあります。

- [Device]> [Phone] > [Find] > [Geolocation/Device Pool]
- [Device]> [Trunk] > [Find] > [Geolocation/Device Pool]
- [System] > [Device] [Pool] > [Find] > [Geolocation/Geolocation Filter]
- [System]> [Geolocation Configuration]
- [System]> [Geolocation Filter]

[CCMAdmin] で、[Enterprise Parameters]> [Logical Partitioning Configuration] に移動します。位置情報 (Geolocation) および論理パーティション (Logical Partitioning) に影響を与える可能性のあるパラメータは、4 つあります。次の点に注意してください。

- [Device] の設定、[Device Pool] の設定、[Logical Partitioning] の設定、[Geolocation]、[Filter] などはすべて、[Enable Logical Partitioning]パラメータをデフォルトの [False] から [True] に変更する必要があります。
- [Default Policy]は、デフォルトでは [Deny] に設定されています。[Policy] は、[Call Routing]> [Logical Partition Policy Configuration] で明示的には定義されません。
- [Device Geolocation] 設定と [Device Pool Geolocation] 設定が空白の場合でも、デバイスに [Default Geolocation]を割り当てることができます。

設定を変更し、それが期待どおりに機能しない理由を特定できない場合は、電話などのエンドポイントに直接割り当てられた位置情報、およびSIPトランクなどのトランクとゲートウェイを調べます。電話機、トランク、ゲートウェイに直接割り当てられた位置情報フィルタを調べます。これらの両方が空白の場合、上記の [Enterprise Parameters] の中にリストされている [Default Policy]を調べます。

これで、電話機 (Interior (内部) デバイス) と、トランクまたはゲートウェイ (Border (ボーダー) デバイス) に割り当てられている詳細が分かったので、**論理パーティション ポリシー (Logical Partition Policy)** を一致させることができます。[Call Routing] > [Logical Partition Policy Configuration] に移動します。ポリシーに関する知識と理解が課題になることがあります。このドキュメントの目的の 1 つは、広範囲にわたる役立つ例を提供することです。

シナリオ例

Bangalore と **Chennai** という 2 つのポリシーを設定します。[Logical Partitioning Policy Configuration]ページを表示すると、選択した 2 つの [Device Type] の内の最初のデバイス タイプに常にリンクされる名前が先頭に表示されることを覚えておいてください。Bangalore の論理パ

ーティション ポリシー (Logical Partitioning Policy) (位置情報ポリシー (Geolocation Policy)) を設定する場合、許可 (Allow) と拒否 (Deny) の関係は常に **Bangalore Interior** または **Bangalore Border** で始まります。

これら 2 つのポリシーについて、Bangalore の [Policy] ページ上での可能な順列は次のとおりです。

- Bangalore Interior から Bangalore Interior
- Bangalore Interior から Bangalore Border
- Bangalore Border から Bangalore Interior
- Bangalore Border から Bangalore Border
- Bangalore Interior から Chennai Interior
- Bangalore Interior から Chennai Border
- Bangalore Border から Chennai Interior
- Bangalore Border から Chennai Border

また、これら 2 つのポリシーについて、Chennai の [Policy] ページ上での可能な順列も次の 8 つあります。

- Chennai Interior から Bangalore Interior
- Chennai Interior から Bangalore Border
- Chennai Border から Bangalore Interior
- Chennai Border から Bangalore Border
- Chennai Interior から Chennai Interior
- Chennai Interior から Chennai Border
- Chennai Border から Chennai Interior
- Chennai Border から Chennai Border

注：さまざまな理由から、このように多数のポリシーの関係を設定する必要はありません。関係ロジックは方向を調べません。したがって、Bangalore Interior から Chennai Border は、Chennai Border から Bangalore Interior と同じものです。互いに矛盾する設定を行わないようにしてください。

ポリシーの矛盾と重複についてよく寄せられる質問 (FAQ)

Q：矛盾や重複するポリシーがあるとどうなりますか。

A：ある特定のロジックで動作しますが、追跡が困難である可能性があります。このロジックは、追加された最後のポリシー (変更されたポリシーではなく、新しく追加されたポリシー) に関連します。

値の [Allow] が含まれていたポリシーの値が、後で [Deny] に変更された場合、そのポリシーは [Deny] のままになります。逆も同様です。前に [Deny] に設定されていて、後で [Allow] に変更されたポリシーは、[Allow] になります。[Cisco Unified Reporting]> [Geolocation Policy Report] は、重複するポリシーの特定に役立ちます。

Q：「Bangalore Interior から Chennai Border」が [Allow] に設定され、「Chennai Border から Bangalore Interior」が [Deny] に設定されるとどうなりますか。

A：Chennai Border から Bangalore Interior が追加された最後のポリシーの場合、そのポリシーが優先されます。

注：ポリシーが影響を与えるのは、Interior から Border、Border から Interior、および Border から Border の関係だけで、Interior から Interior の関係には影響を与えません。

この追加の情報を考慮すると、このドキュメント内のポリシーの例は、組み合わせられた 16 個のエントリから 7 個のエントリに大幅に減らすことができます。Interior から Interior は影響を受けないことを覚えておいてください。Interior から Interior、および重複するポリシーを取り消し線で示し、今後、リストに示さないことにします。

Bangalore の [Policy] ページは、次のようになります。

- ~~Bangalore Interior から Bangalore Interior~~ Interior から Interior は影響を受けません。
- Bangalore Interior から Bangalore Border
- ~~Bangalore Border から Bangalore Interior~~ - Bangaloreの[Policy]ページで設定されたBangalore InteriorからBangalore Borderと重複しています。
- Bangalore Border から Bangalore Border
- ~~Bangalore Interior から Chennai Interior~~ Interior から Interior は影響を受けません。
- Bangalore Interior から Chennai Border
- Bangalore Border から Chennai Interior
- Bangalore Border から Chennai Border

Chennai の [Policy] ページは、次のようになります。

- ~~Chennai Interior から Bangalore Interior~~ Interior から Interior は影響を受けません。
- ~~Chennai Interior から Bangalore Border~~ - Bangaloreの[Policy]ページで設定されたBangalore BorderからChennai Interiorと重複しています。
- ~~Chennai Border から Bangalore Interior~~ - Bangaloreの[Policy]ページで設定されたBangalore InteriorからChennai Borderと重複しています。
- ~~Chennai Border から Bangalore Border~~ - [Bangalore Policy]ページで設定された[Bangalore BorderからChennai Border]と重複しています。
- ~~Chennai Interior から Chennai Interior~~ Interior から Interior は影響を受けません。
- Chennai Interior から Chennai Border
- ~~Chennai Border から Chennai Interior~~ - Chennai InteriorからChennai Borderと重複 設定します。
- Chennai Border から Chennai Border

Chennai Policy に一致する Chennai Geolocation を持つ IP フォンは、Chennai の Interior デバイスです。Chennai Policy に一致する Chennai Geolocation を持つ SIP トランクは、Chennai の Border デバイスです。特に [Device-Type]を割り当てる必要はありません。CUCM では、トランク、ゲートウェイ、電話機を自動的に分類します。Chennai の Interior デバイス (電話機) から呼び出しが拒否される (たとえば、呼び出しでファースト ビジー信号を受信する) ことなく Chennai の Border デバイス (SIP トランク) を呼び出せるようにしたい場合、「Chennai Interior から Chennai Border」のポリシーを [Allow]に設定し、後でポリシーが重複して設定されないようにする必要があります。

注：[Device Pool] への変更は、その変更をコミットするために、[Device Pool] がリセットされる必要があります。このリセットは多数のデバイスに影響を与える可能性があるため、変更は業務時間外に設定してください。

注：CallManager SDI (ccm.txt) トレースで、番号分析 (DA) が実行されずに、論理パーティション (LP) が原因でコール (呼び出し) が拒否されていることに気づくかもしれません。以下が一例です。SIP Invite, Trying, 503 Service Unavailable with no DA in between.

拒否メッセージ全体の例を次に示します。

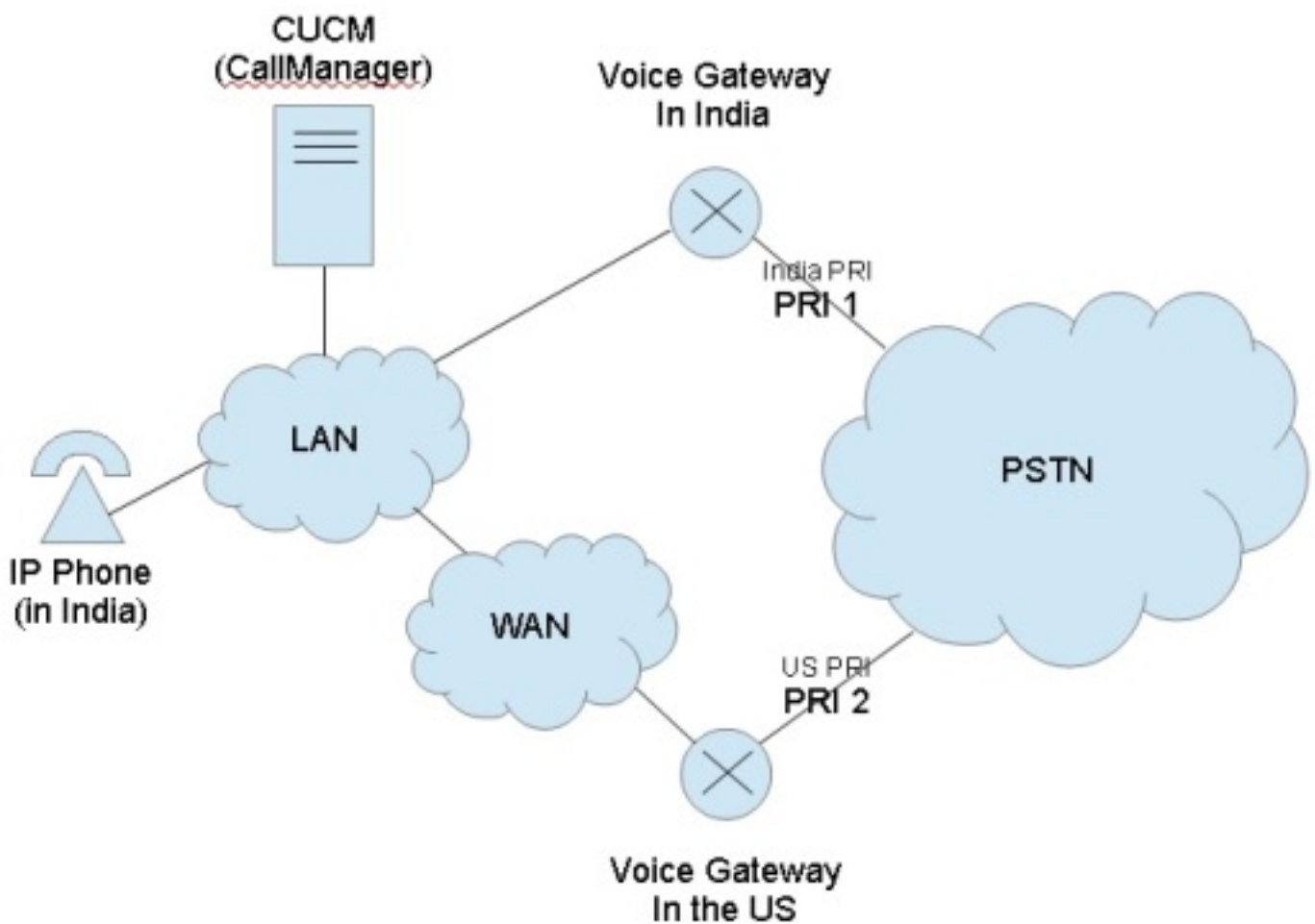
```
09/18/2012 21:53:48.379 CCM|Cdcc::CcRejInd: ccRejInd.c.cv = -1493172161|
<CLID::KCMCS01-Cluster> <NID::10.50.1.11><CT::2,100,45,1.1290981><IP::10.50.15.127><DEV::>
<LVL::Detailed><MASK::0800>
```

```
...
CV=-1493172161 in CcRejInd refers to Logical Partitioning denial as per this
junked Defect CSCsz91044
```

```
...
09/18/2012 21:53:48.380 CCM|//SIP/SIPTcp/wait_SdlSPISignal: Outgoing SIP TCP
message to 10.50.15.127 on port 50380 index 90345
SIP/2.0 503 Service Unavailable
```

次の図では、位置情報および論理パーティションの例を示しています。

図 1：ネットワーク図



この図では、望ましいコールフローを示しています。このコールフローは、TEHO (テールエンドホップオフ) とトールバイパスを制限する政府の規制による結果である可能性が高いです。

- インドの IP フォンは、公衆電話交換網 (PSTN) アクセスはローカルであるという理由で、一次群速度インターフェイス (PRI) 1 を呼び出し可能である必要があります。
- インドの IP フォンは、PSTN アクセスはローカルではないという理由で、PRI 2 を呼び出し可能であってはなりません。
- 同様に、インドの IP フォンは PRI 1 を呼び出し可能でかつ呼び出しの保留が可能である必要がありますが、PRI 2 にダイヤルしたり 3 者すべてを電話会議に参加させたりできてはなりません。

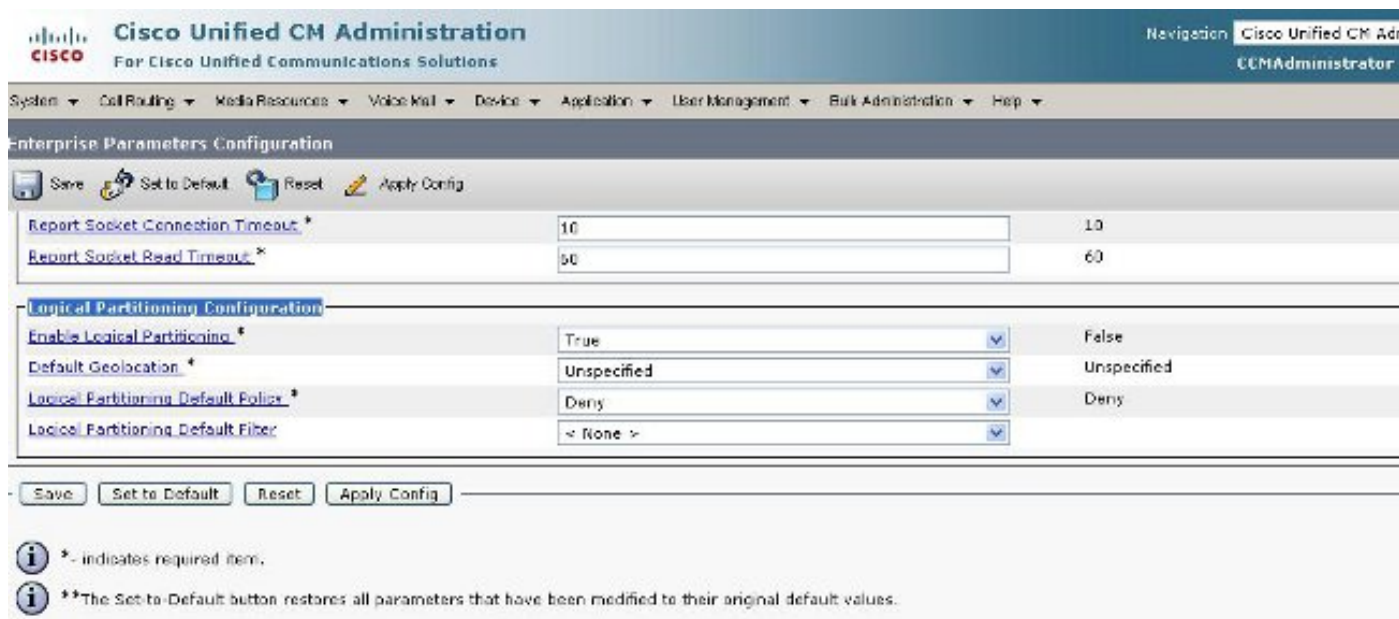
ません。

位置情報および論理パーティションの使用に関するセットアップ

ここでは、CUCM で位置情報 (Geolocation) と論理パーティション (Logical Partition) をセットアップおよび設定するための手順を示します。

ステップ 1 : [Enterprise Parameters Configuration] で次の設定を行います。[Logical Partitioning Default Policy]を [Deny] または [Allow] のいずれに設定するかご注意ください。これは重要です。この設定例の場合、[Deny]に設定されています。

図 2 : CUCM の [Logical Partitioning Configuration] (論理パーティションの設定)



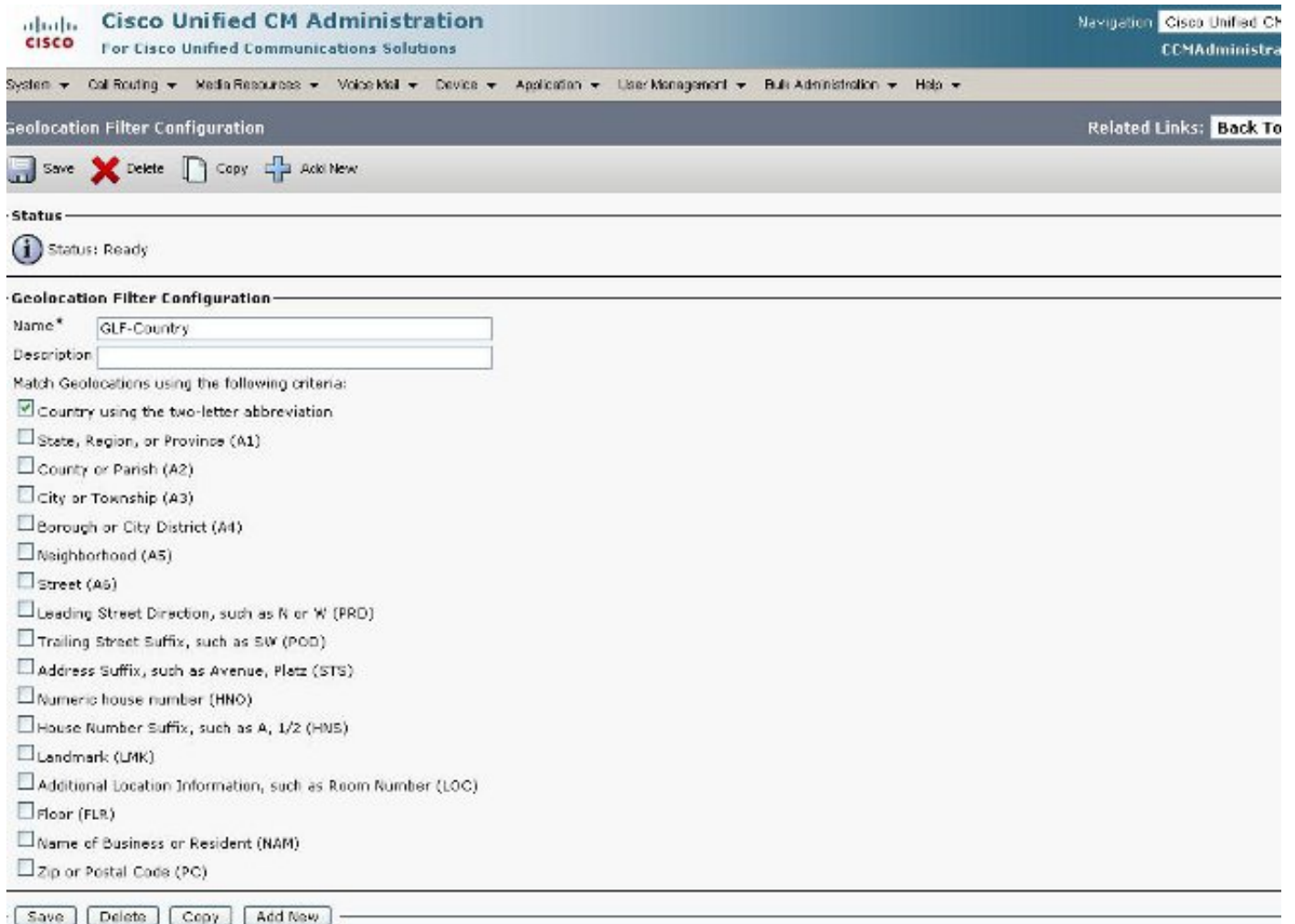
The screenshot displays the Cisco Unified CM Administration interface. The main content area is titled "Enterprise Parameters Configuration" and shows the "Logical Partitioning Configuration" section. The settings are as follows:

Parameter	Value	Default Value
Report Socket Connection Timeout *	10	10
Report Socket Read Timeout *	60	60
Enable Logical Partitioning *	True	False
Default Geolocation *	Unspecified	Unspecified
Logical Partitioning Default Policy *	Deny	Deny
Logical Partitioning Default Filter	< None >	

Below the configuration table, there are buttons for "Save", "Set to Default", "Reset", and "Apply Config". A legend at the bottom indicates that an asterisk (*) denotes a required item, and a double asterisk (**) indicates that the "Set to Default" button restores all modified parameters to their original default values.

ステップ 2 : [Geolocation Filter Configuration]に移動し、この特定の設定に 1つのフィルタを指定します。設定が非常に詳細になる場合は、さらにフィルタを指定できます。この場合は、[Country]とだけ照合することを指定します。

図 3 : CUCM の [Geolocation Filter Configuration] (位置情報フィルタの設定)



ステップ 3 : [Geolocation Configuration]に移動し、優先してフィルタ処理する必要がある対象の特定の指定場所をセットアップします。この設定は非常に単純で、[Geolocation Filter]で設定したもの以外に設定する必要はありませんが、この例では追加の設定をいくつか示します。

図 4 : CUCM の位置情報 (Geolocation) のリスト

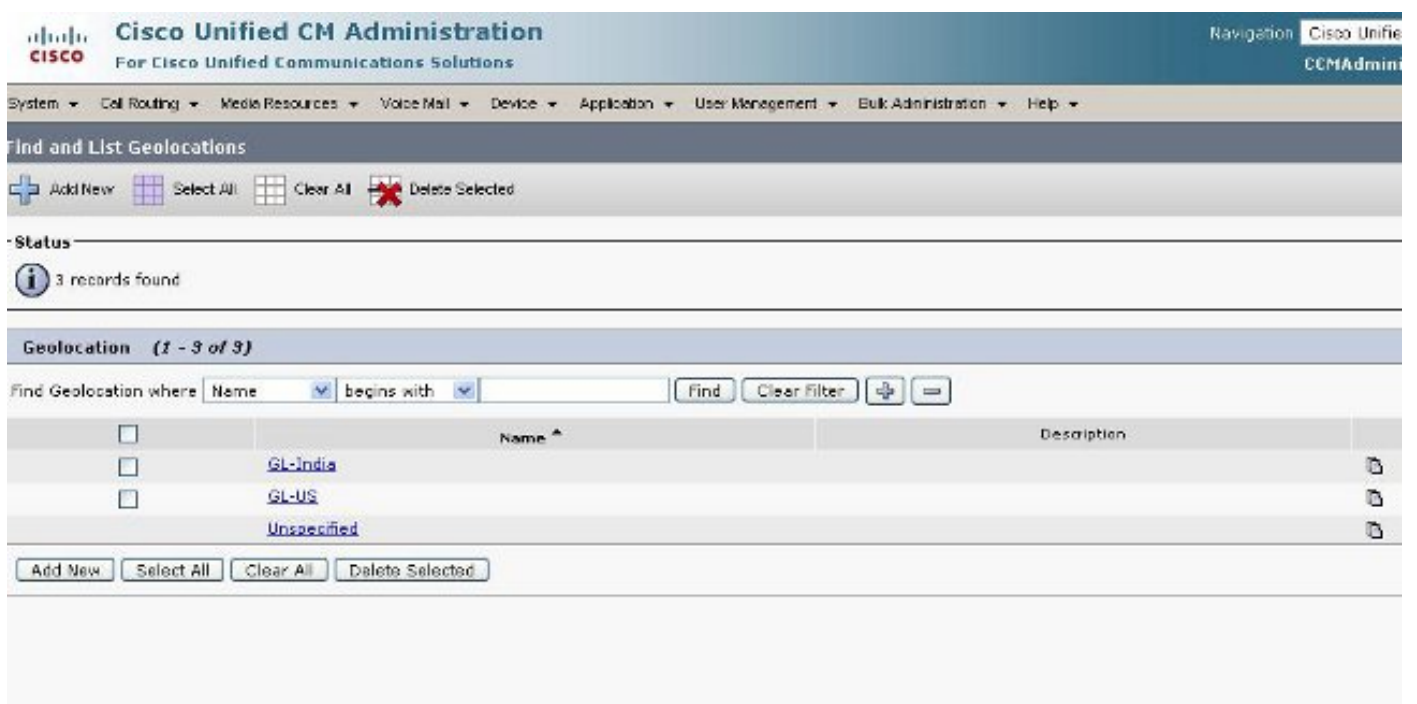


図 5 : [Geolocation Configuration] (位置情報の設定)



Geolocation Configuration

Related Links: **B**

Save Delete Copy Add New

Status

Status: Ready

Geolocation Configuration

Name *	<input type="text" value="GL-India"/>
Description	<input type="text"/>
Country using the two-letter abbreviation	<input type="text" value="IN"/>
State, Region, or Province (A1)	<input type="text" value="Mumbai"/>
County or Parish (A2)	<input type="text"/>
City or Township (A3)	<input type="text" value="Mum"/>
Borough or City District (A4)	<input type="text"/>
Neighborhood (A5)	<input type="text"/>
Street (A6)	<input type="text"/>
Leading Street Direction, such as N or W (PRD)	<input type="text"/>
Trailing Street Suffix, such as SW (POD)	<input type="text"/>
Address Suffix, such as Avenue, Platz (STS)	<input type="text"/>
Numeric house number (HNO)	<input type="text"/>
House Number Suffix, such as A, 1/2 (HNS)	<input type="text"/>
Landmark (LMK)	<input type="text"/>
Additional Location Information, such as Room Number (LOC)	<input type="text"/>
Floor (FLR)	<input type="text"/>
Name of Business or Resident (NAM)	<input type="text"/>
Zip or Postal Code (PC)	<input type="text"/>

図 6 : [Geolocation Configuration] ページ 2

Cisco Unified CM Administration
For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation: Cisco Unified CM Administration

System ▾ Call Routing ▾ Media Resources ▾ Voice Mail ▾ Devices ▾ Application ▾ User Management ▾ Bulk Administration ▾ Help ▾

Geolocation Configuration Related Links: [Back To](#)

Save **X** Delete Copy Add New

Status
Status: Ready

Geolocation Configuration

Name *	GL-US
Description	
Country using the two-letter abbreviation	US
State, Region, or Province (A1)	TX
County or Parish (A2)	
City or Township (A3)	Dallas
Borough or City District (A4)	
Neighborhood (A5)	
Street (A6)	
Leading Street Direction, such as N or W (PRD)	
Trailing Street Suffix, such as SW (POD)	
Address Suffix, such as Avenue, Platz (STS)	
Numeric house number (HNO)	
House Number Suffix, such as A, 1/2 (HNS)	
Landmark (LMK)	
Additional Location Information, such as Room Number (LOC)	
Floor (FLR)	
Name of Business or Resident (NAM)	
Zip or Postal Code (PC)	

Save Delete Copy Add New

ステップ 4 : [Device Pool Configuration]に移動し、[Geolocation Configuration] のパラメータを探します。このパラメータは、電話機が物理的に存在する場所に設定します。

図 7 : [Device Pool Configuration] (デバイス プールの設定)

Cisco Unified CM Administration For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation Cisco Unified CM Administration CCMAdministrator

System Call Routing Media Resources Voice Mail Device Application User Management Bulk Administration Help

Device Pool Configuration Related Links: Back To Find/List

Save Delete Copy Reset Apply Config Add New

Single Button Barge* Default

Join Across Lines* Default

Physical Location < None >

Device Mobility Group < None >

Device Mobility Related Information****

Device Mobility Calling Search Space < None >

AAR Calling Search Space < None >

AAR Group < None >

Calling Party Transformation CSS < None >

Called Party Transformation CSS < None >

Geolocation Configuration

Geolocation GL-India

Geolocation Filter GLF-Country

Incoming Calling Party Settings

If the administrator sets the prefix to Default this indicates call processing will use prefix at the next level setting (DevicePool/Service Parameter). Otherwise, the value configured is used as the prefix unless the field is empty in which case there is no prefix assigned.

Clear Prefix Settings Default Prefix Settings

Number Type	Prefix	Strip Digits	Calling Search Space
National Number	Default	0	< None >
International Number	Default	0	< None >

ステップ 5 : 電話機用のデバイス設定ページに移動し、電話が存在する場所を選択します。

図 8 : 電話機の設定

Cisco Unified CM Administration For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation Cisco Unified CM Administration CCMAdministrator

System Call Routing Media Resources Voice Mail Device Application User Management Bulk Administration Help

Phone Configuration Related Links: Back To Find/List

Save Delete Copy Reset Apply Config Add New

Media Resource Group List	< None >
User Hold MOH Audio Source	< None >
Network Hold MOH Audio Source	< None >
Location*	Hub_None
AAR Group	< None >
User Locale	< None >
Network Locale	< None >
Built In Bridge*	Default
Privacy*	Default
Device Mobility Mode*	Default
Owner User ID	< None >
Phone Load Name	
Join Across Lines	Default
Use Trusted Relay Point*	Default
BLF Audible Alert Setting (Phone Idle)*	Default
BLF Audible Alert Setting (Phone Busy)*	Default
Always Use Prime Line*	Default
Always Use Prime Line for Voice Message*	Default
Calling Party Transformation CSS	< None >
Geolocation	GL-India

Use Device Pool Calling Party Transformation CSS
 Retry Video Call as Audio
 Ignore Presentation Indicators (Internal calls only)

View Current Device

ステップ 6 : PRI インターフェイス用のデバイス設定ページに移動し、それらのインターフェイスを個々の構成単位として、そしてあたかも同じものであるかのように設定します。

図 9 : India (インド) 用の PRI

The screenshot shows the Cisco Unified CM Administration interface for Gateway Configuration. The page title is "Gateway Configuration" and it includes a navigation menu at the top with options like System, Call Routing, Media Resources, Voice Mail, Device, Application, User Management, Bulk Administration, and Help. Below the title, there are action buttons: Save, Delete, Reset, and Apply Config. The configuration fields are as follows:

- Unknown Number: Default
- Subscriber Number: Default
- Line Coding*: B8ZS
- Framing*: ESF
- Clock*: External
- Input Gain (-6..14 db)*: 0
- Output Attenuation (-6..14 db)*: 0
- Echo Cancellation Enable*: Enable
- Echo Cancellation Coverage (ms)**: 64
- Geolocation: GL-India
- Geolocation Filter: GLF-Country

At the bottom, there are buttons for Save, Delete, Reset, and Apply Config.

図 10 : US (米国) 用の PRI

The screenshot shows the Cisco Unified CM Administration interface for Gateway Configuration. The page title is "Gateway Configuration" and it includes a navigation menu at the top with options like System, Call Routing, Media Resources, Voice Mail, Device, Application, User Management, Bulk Administration, and Help. Below the title, there are action buttons: Save, Delete, Reset, and Apply Config. The configuration fields are as follows:

- Unknown Number: Default
- Subscriber Number: Default
- Line Coding*: B8ZS
- Framing*: ESF
- Clock*: External
- Input Gain (-6..14 db)*: 0
- Output Attenuation (-6..14 db)*: 0
- Echo Cancellation Enable*: Enable
- Echo Cancellation Coverage (ms)**: 64
- Geolocation: GL-US
- Geolocation Filter: GLF-Country

At the bottom, there are buttons for Save, Delete, Reset, and Apply Config. Below the configuration area, there are two informational notes:

- * - indicates required item.
- ** - applies to DMS-100 protocol only.

手順 7 : このステップは、論理パーティション ポリシー (Logical Partition Policy) の設定でより難しい部分です。

注 : 2 つのポリシーが必要です。

図 : 11 : [Logical Partitioning Policy] (論理パーティション ポリシー) のリスト

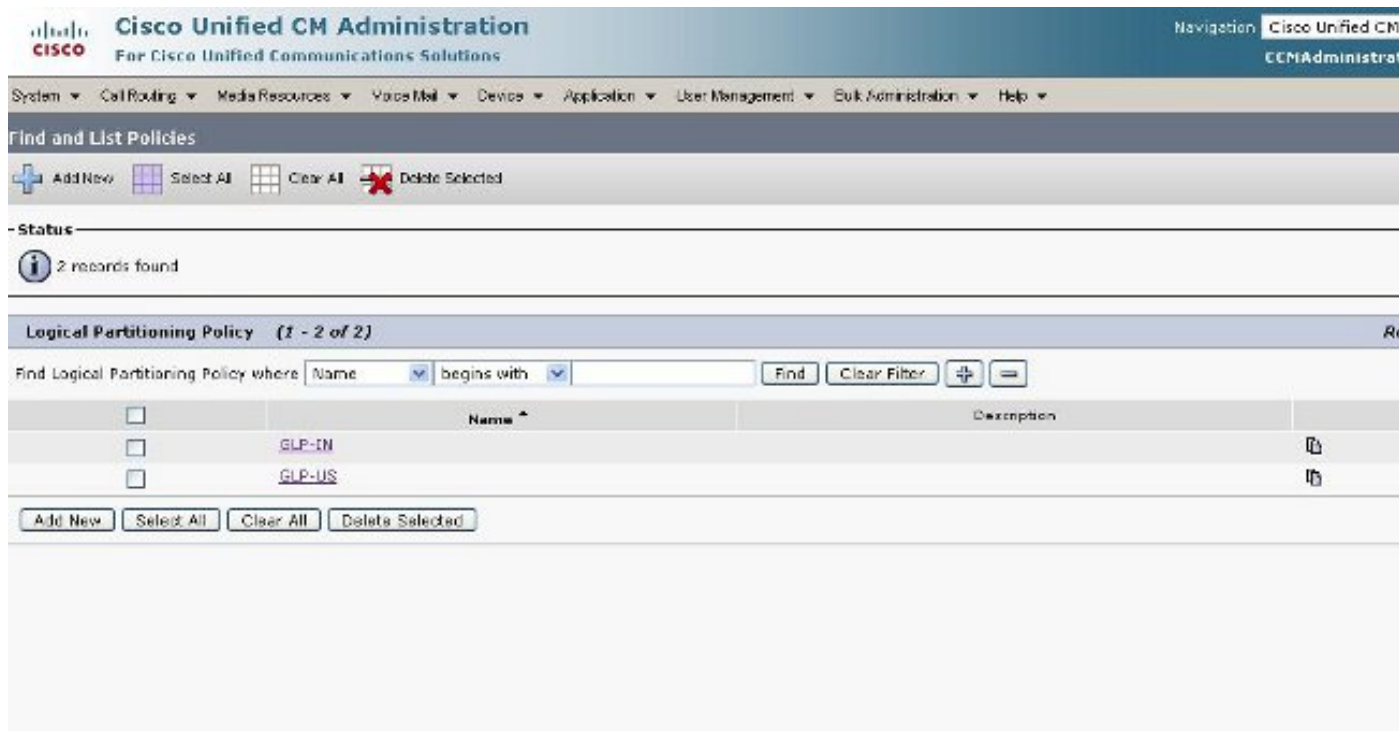


図 12 : India (インド) のポリシー

Cisco Unified CM Administration
For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation: Cisco Unified CM Administration

System ▾ Call Routing ▾ Media Resources ▾ Voice Mail ▾ Device ▾ Application ▾ User Management ▾ Bulk Administration ▾ Help ▾

Logical Partitioning Policy Configuration Related Links: [Back To](#)

Save ~~Delete~~ Copy Add New

Status
Status: Ready

Logical Partitioning Policy Configuration

Name* GLP-IN
Description
Country IN
A1 < None >
A2 < None >
A3 < None >
A4 < None >
A5 < None >
A6 < None >
PRD < None >
POD < None >
STS < None >
HNO < None >
HNS < None >
LMK < None >
LOC < None >
FLR < None >
NAM < None >
PC < None >

図 13 : India (インド) のポリシー (続き)

Cisco Unified CM Administration
For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation: Cisco Unified CM Administration

System ▾ Call Routing ▾ Media Resources ▾ Voice Mail ▾ Device ▾ Application ▾ User Management ▾ Bulk Administration ▾ Help ▾

Logical Partitioning Policy Configuration Related Links: [Back To](#)

Save ~~Delete~~ Copy Add New

LMK < None >
LOC < None >
FLR < None >
NAM < None >
PC < None >

Configured Policies

Device Type	Geolocation Policy	Other Device Type	Policy
Border	GLP-US	Border	Deny
Interior	GLP-US	Border	Allow
Interior	GLP-IN	Interior	Allow
Border	GLP-IN	Interior	Allow
Border	GLP-IN	Border	Allow

NOTE: Geolocation Policies that are not displayed use the Default Policy; To remove policies from the above list, set the respective policy to Use Default Policy

Configure Relationship to other Geolocation Policies

Device Type	Geolocation Policy	Other Device Type
Border	GLP-IN GLP-US	Border

Save Delete Copy Add New

* indicates required item.

図 14 : US (米国) のポリシー

The screenshot displays the Cisco Unified CM Administration interface for configuring a Logical Partitioning Policy. The page title is "Logical Partitioning Policy Configuration" and the status is "Ready". The configuration details are as follows:

Field	Value
Name	GLP-US
Description	
Country	US
A1	< None >
A2	< None >
A3	< None >
A4	< None >
A5	< None >
A6	< None >
PRD	< None >
POD	< None >
STS	< None >
HNO	< None >
HNS	< None >
LMK	< None >
LOC	< None >
FLR	< None >
NAM	< None >
FC	< None >

図 15 : US (米国) のポリシー (続き)

Cisco Unified CM Administration
For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation Cisco Unified CM
CCMAdministration

System > Call Routing > Media Resources > Voice Mail > Device > Application > User Management > Bulk Administration > Help >

Logical Partitioning Policy Configuration Related Links: [Back To](#)

Save Delete Copy Add New

HRO < None >
HRS < None >
LMK < None >
LOC < None >
FLR < None >
NAM < None >
PC < None >

Configured Policies

Device Type	Geolocation Policy	Other Device Type	Policy
Border	GLP-IN	Border	Deny
Border	GLP-IN	Interior	Allow
Border	GLP-US	Border	Allow

NOTE: Geolocation Policies that are not displayed use the Default Policy; To remove policies from the above list, set the respective policy to Use Default Policy

Configure Relationship to other Geolocation Policies

Device Type	Geolocation Policy	Other Device Type
Border	GLP-IN GLP-US	Border

Save Delete Copy Add New

ボーダー デバイスと要素デバイス

ここでは、「ボーダー (Border) 」と「内部 (Interior) 」の意味と、デバイスが「ボーダー」と「内部」のいずれであるかを判断する方法について説明します。

CUCM デバイスを分類するために使用される用語は、それらの機能に基づきます。

- **ボーダー デバイス**：これらのデバイスでは、クラスタ間への PSTN アクセスまたは通信を許可します。
- **内部デバイス**：これらのデバイスは、Voice over IP (VoIP) エンドポイントです。

通常のボーダー デバイスには、次のものがあります。

- ゲートウェイ (H.323 ゲートウェイなど)
- クラスタ間トランク (ICT : InterCluster Trunk) (ゲートキーパー制御およびゲートキーパー以外の制御の両方)
- H.225 トランク
- SIP トランク
- Media Gateway Control Protocol (MGCP) ポート (E1、T1、PRI、BRI、FXO)

通常の内部デバイスには、次のものがあります。

- 電話機 (SCCP、SIP、サードパーティ)
- VG224 アナログ電話
- MGCP ポート (FXS)
- CTI ルート ポイントおよび CTI ポート
- Cisco Unity ボイス メール (SCCP)

この「ボーダー」と「内部」のソースは CUCM デバイスに基づいて固定されており、CUCM リリース 7.1 では設定できません。

[Allow] (許可) と [Deny] (拒否) の設定

このドキュメントの設定例はすべて、[Enterprise Parameters] を [Deny] 状態にして実行されました。図 2 を参照してください。状況によっては、この設定が設定されているため、これを実現するのは困難であるため拒否するすべてを割り当ててから、設定するには、この値を変更することができます。

このセットアップでは、設定する必要があるのは以下のものだけです。

- [Enterprise Parameters]
- [Geolocation Filter]。
- [Geolocation Configuration]。
- [Device Pool]。
- IP フォンの位置情報。
- PRI インターフェイスの位置情報 (ゲートウェイは MGCP) 。
- 論理パーティション内の位置情報ポリシー ([Border] または [Interior] の [Allow] または [Deny] の設定) 。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)